

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## 現在の流行状況

### 手足口病・ヘルパンギーナに注意しましょう！

どちらも夏場に流行する感染症で、8月も報告が多い時期ですので引き続き注意が必要です。

#### 【手足口病】

潜伏期間: 3～5日

症状: 手や足や口の中にかゆみや痛みを伴わない水疱性発疹

#### 【ヘルパンギーナ】

潜伏期間: 2～5日

症状: 発熱(38度以上、時には39度～40度近い高熱を発症するケースも)、口腔内の口内炎や水疱、咽頭炎

どちらの病気も、ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかり行いましょう。

#### 【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。

期 間		第30週		第31週	
		7/21～7/27		7/28～8/3	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		1	0.04	0	0.00
RSウイルス感染症		0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		18	1.13	24	1.50
感染性胃腸炎		31	1.94	41	2.56
水痘(みずぼうそう)		3	0.19	5	0.31
手足口病		35	2.19	43	2.69
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	1	0.06
突発性発しん		15	0.94	20	1.25
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		34	2.13	18	1.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		3	0.19	3	0.19
急性出血性結膜炎		0	0.00	1	0.20
流行性角結膜炎(はやり目)		11	2.20	13	2.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		2	0.40	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00